



冠七世永生羽生

史上初、竜王奪取し達成

将棋の第30期竜王戦七番勝負(読売新聞社主催)の第5局が4、5の両日、鹿児島県指宿市で行われ、挑戦者で先手の羽生善治棋聖(47)が渡辺明竜王(33)に勝ち、対戦成績4勝1敗とし、竜王位を奪取した。通算7期の竜王位獲得で「永世竜王」の資格も得て、これまで保持している6つの永世称号を合わせ、前人未到の「永世七冠」を達成した。

羽生新竜王は獲得タイトルを通算99期とし、最多記録を更新。100期の大台まであと1期に迫った。

羽生新竜王は平成7〜20年にかけて、竜王以外の6つのタイトル戦で規定の回数以

上のタイトル獲得を満ちし、永世棋聖・永世名人・永世王位・名誉王座・永世棋王・永世王将の6つの永世称号を保持していた。

竜王を6期獲得し、永世竜王まであと1期に迫っていた羽生新竜王は、20年と22年にも竜王戦七番勝負で渡辺前竜王に挑戦したが、いずれも阻まれた。今回、7年ぶりの挑戦で偉業を達成した。

羽生新竜王は今年、三冠を保持した状態で7月に棋聖10連覇を達成したが、その後、王位、王座を失冠し、約13年ぶりに棋聖のみの一冠に後退した。今回新たに獲得した竜王を合わせ二冠となった。

羽生善治新竜王の各タイトル獲得数と永世称号の獲得状況

タイトル名	通算獲得数	永世称号名と獲得時期	永世称号獲得条件
竜王	7期	永世竜王(平成29年)	連続5期または通算7期
棋聖	16期	永世棋聖(7年)	通算5期
名人	9期	永世名人(20年)	通算5期
王位	18期	永世王位(9年)	連続5期または通算10期
王座	24期	名誉王座(8年)	連続5期または通算10期
棋王	13期	永世棋王(7年)	連続5期
王将	12期	永世王将(19年)	通算10期



はぶ・よしはる 昭和45年、埼玉県所沢市出身。二上達也九段門下で57年、奨励会入会。60年、15歳で史上3人目の中学生プロ棋士としてデビュー。平成8年、史上初の全七大タイトル(当時)を同時制覇。第30期竜王戦で勝利したことで、タイトル獲得は史上最多の通算99期、永世竜王も獲得し、前人未到の「永世七冠」を達成した。